

高浜原発3、4号再稼働同意

町議会来月中旬に判断

2/21
県民新聞

関西電力高浜原発3、4号機（高浜町）再稼働の地元同意について、同町議会の場的場輝夫議長は二十日、「議会としては、三月議会中か、遅くとも二月末までには判断を示したい」と述べ、統一地方選の町議選（四月二十一日告示、二十六日投開票）前に結論を出す方針を明らかにした。

3、4号機については、原子力規制委員会が十二日に新規制基準を満たすとする「合格」を与えている。Ⅱ
関連②③面
町の三月議会は三月三日から十九日まで。的場議長は「新年度予算を審議するため、議会日程の早い段階で再稼働についての課題を終えたい」と話した。

審査で先行した川内原発（鹿児島県）が立地する薩摩川内市議会と異なり、陳情採択をもって議会の判断とはしない考え。「全員協議会を開いて、私が議員に対し議長としての見解を伝える。同意が得られれば、それを議会の判断として町長に伝える」と話した。

原子力規制庁に町が制作依頼した町民向けの解説ビデオが三月早々、町内のケーブルテレビで放映されるため「三〜四日あれば、大多数の町民は目にすると思う。町民の反応も判断材料の一つ」と述べた。

この日は、町議会全員協議会が開かれ、原子力規制庁と資源エネルギー庁の職員から、新規制基準に適合した同原発の安全対策や原子力の必要性の説明を受けた。また、震災以降五回目となる町議団による高浜原発の視察も行われた。

（平井孝明）